



原子力産業新聞

2012年8月23日
 平成24年(第2635号)
 毎週木曜日発行
 購読料1年分前金(消費税、国内送料込)
 会員 9,500円(1部220円)
 非会員 15,000円(1部350円)
 (当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

原子力学会が福島事故調査開始

学会の役割、専門家としての責任にもメス



委員長に田中知教授 13年末までに報告書

日本原子力学会は、同学会の総力を挙げて福島事故の調査を行うため、「東京電力福島第一原子力発電所事故に関する調査委員会(学)

同学会では福島事故後、調査専門委員会を調査検討を行ってきたが、改めて新たな委員会を立ち上げ、一三年末を目途に調査結果を取りまとめることにしている。

田中委員長は「学会では、事故当初から各部署などで調査を行ってきたおり、各部署の活動をベースに、学会の総力を挙げて取り組みたい。さらなる調査や、廃炉へのロードマップなどの中で明らかにすることもあろう。会員に開かれていくのが学会だが、社会にも開かれたものでなくてはならず、学会・年会などでも報告していきたい」と挨拶した。

エネ選択で検証会合開催 原子力政策決定へ大詰め

政府によるエネルギー・環境の選択肢提示を受けた国民的議論について検証する会合が二十二日に始まった。エネルギー・環境会議長の古川元久国家戦略担当相を座長とし、世論調査に関する有識者を招き、国民的議論について、これまでに実施された意見聴取会、パブリックコメント、討論型世論調査、などの結果を踏まえ検証し、「革新的エネルギー・環境戦略」策定につなげる。

国民的議論の進捗は、国民的議論を踏まえた総括を行う議論の意義を強調したほか、「どのシナリオを支持するか」だけでなく、なぜそのシナリオを支持するのか」とも述べ、調査結果について、定性的、定量的の両面から検証していく考えを示した。

検証会合では、次回二十七日までに、検証の対象とすべき調査・取組、調査結果や情報の整理の仕方、支持率の数字の解釈の仕方、論点項目の妥当性について検討を行う。その上で、国民的議論を踏まえた総括を行い、検証結果がまとまり次第、エネルギー・環境会議に報告する運びだ。なお、十二日に締め切られたパブリックコメントの総数は、八万九千二百二十四件に上った。

雇用・振興で政府に要請

原子力発電所の立地市町村などで構成する全国中間貯蔵施設、12候補地点

政府が提示 現地調査の実施を要請

双葉地方及び福島県と国との協議が十九日、福島市で行われ、細野原発事故担当相、平野復興相、佐藤雄平知事、関根町長八人が出席した。細野大臣は、中間貯蔵施設の調査地候補として双葉町二か所、大熊町

「原子力技術、今後も重要」

細野原相「脱原発簡単には言えない」

細野豪志 原発事故担当相は二十一日の閣議後記者会見で、原子力技術を残すための方針がない限り、脱原発は簡単に言えることではないとした。エネルギー政策の原子力発電比率に関して、「原子力のない世界が望ましい」と考

「森林除染、地元の見解聴く」

細野環境相 福島事故後の環境除染を担当している細野豪志・環境相(原発事故担当)は、環境省の委員会の中にも(不要論も含め)いろいろな意見がある」と指摘した上で、「いずれにしても暫定的なものにならないを得ない」と述べた。

この一週間の出来事

(16日(木)～22日(水))

- 細野原相、千葉工大ロボット開発視察(17日)
- 海洋研、3・11地震の断層変形構造を解明(20日)
- 野田首相、反原発運動家代表と面会(22日)

原産新聞の紙面から

国内ニュース

- 原産、電事連、電工会がエネ選択で意見(2面)
- 静岡県が原産協を正式離脱(2面)
- 菅前首相が福島事故振り返り講演(4面)
- 福島第一1号機のICの現況を撮影(4面)

海外ニュース

- カナダで増設計画にサイト準備許可発給(3面)
- 米規制委、認可発給活動を一時停止(3面)
- ベルギー炉の圧力容器検査で亀裂発見(3面)

世界で最も信頼されている原子力産業情報誌

Nuclear Fuel / ニュークリアー・フューエル

プラッツ・ニュークリアー・フューエルは、全世界の核燃料サイクル情報を網羅した情報誌です。原子力産業界の政策や価格動向について鍵となる情報を、隔週で提供しています。

Nucleonics Week / ニュークレオニクス・ウィーク

1960年の創刊以来、プラッツ・ニュークレオニクス・ウィークは原子力発電業界の意思決定サポートツールとして、業界に不可欠な産業ニュースを正確かつ客観的にお伝えしています。

弊社サービスについてはプラッツ東京オフィスまでお気軽にお問い合わせ下さい。

営業代表番号(担当:新藤・吉川)/03-4550-8300 Eメール/tokyo@platts.com ホームページ/www.platts.com



プラッツについて

プラッツはニューヨーク証券取引所に上場するマグロー・ヒルカンパニーズの一員で、エネルギーや金属市場の情報を配信する世界最大規模を誇る独立系通信社です。